

## 高倉泰夫教授 略歴・業績目録

## 略 歴

- 1946年 1月 福岡県福岡市に生まれる
- 1970年 3月 佐賀大学経済学部経済学科卒業
- 1970年 4月 九州経済調査協会嘱託研究員（1972年3月まで）
- 1974年 3月 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1977年 3月 九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
- 1977年 4月 九州大学経済学部助手
- 1979年 4月 長崎大学商業短期大学部講師
- 1982年 4月 長崎大学商業短期大学部助教授
- 1989年 5月 長崎大学商科短期大学部教授
- 1997年10月 長崎大学経済学部教授
- 2011年 3月 定年退職

## 学会における活動等

- 1975年10月 九州経済学会会員（2011年まで）
- 1976年 5月 信用理論経済学会会員（2011年まで）
- 1977年 5月 金融学会会員（2011年まで）
- 1977年10月 経済理論学会会員（2011年まで）
- 1977年10月 証券経済学会会員（2011年まで）
- 1994年10月 社会経済システム学会会員（2011年まで）
- 1997年 3月 進化経済学会会員（2011年まで）

## 業績目録

## 著書

- ・『生産諸関係論としての経済学の成立』九州大学出版会，1989年2月

## 論文

- ・「再生産と蓄蔵貨幣」『経済論究』第37号，1976年7月
- ・「『経済学批判要綱』における「資本一般」」『経済論究』第39号，1977年3月
- ・「資本の生産力規定と資本の物神性の展開」『経営と経済』第60巻第2号，1980年9月
- ・「株式資本と資本制的所有」『経営と経済』第61巻第1号，1981年6月
- ・「外国貿易の捨象と再生産論」『経営と経済』第63巻第4号，1984年3月
- ・「貨幣の資本への移行」と「貨幣としての貨幣」『経営と経済』第64巻第2号，1984年9月
- ・「拡大再生産表式における磨損と更新について」『経営と経済』第64巻第4号，1985年3月
- ・「23冊のノート「経済学批判」(1861～63)の拡充過程について」『経営と経済』第65巻第1号，1985年6月
- ・「固定不変資本の更新について」『経営と経済』第65巻第2・3号，1985年10月
- ・「競争」から「信用」への移行と金融市場」『経営と経済』第65巻第4号，1986年3月
- ・「生産諸関係・交通諸関係・分配諸関係」『経営と経済』第66巻第3号，1986年12月
- ・「拡大再生産表式における蓄積基金について」『経営と経済』第67巻第3号，1987年12月
- ・「独占価格と貨幣理論」『経営と経済』第67巻第4号，1988年3月
- ・「利子生み資本と拡大再生産」『経営と経済』第68巻第4号，1989年3月
- ・「生産諸関係・諸階級・国家」『経営と経済』第69巻第3号，1989年12月
- ・「資本蓄積と信用制度」『経営と経済』第69巻第4号，1990年3月
- ・「物象的依存諸関係・生産諸力・生産諸関係」『経営と経済』第70巻第1号，1990年6月
- ・「資本蓄積と金融市場」『経営と経済』第70巻第4号，1991年3月
- ・「生産諸力の発展と市民社会の総括」『マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究』1991年6月

- ・「労働価値説と人格の依存諸関係」『経営と経済』第71巻第4号，1992年3月
- ・「価値・生産諸関係・貨幣」『経営と経済』第72巻第4号，1993年3月
- ・「拡大再生産と生産諸関係の物象化」『経営と経済』第73巻第1号，1993年6月
- ・「社会的再生産過程と信用」『経営と経済』第74巻第2号，1994年9月
- ・「貨幣の価値尺度機能と産業資本の運動」『経営と経済』第76巻第1号，1996年6月
- ・「固定資本と資本制経済」『経営と経済』第78巻第2号，1998年9月
- ・「資本蓄積と蓄蔵貨幣」『経営と経済』第79巻第4号，2000年3月
- ・「物象化の新しい展開と資本蓄積」『経営と経済』第80巻第3号，2000年12月
- ・「新しい物象化と貨幣資本の運動」『経営と経済』第81巻第3号，2001年12月
- ・「生産諸関係の物象化と資本蓄積」『経営と経済』第82巻第3号，2002年12月
- ・「新しい物象化と経済理論 - 利子生み資本との関連で - 」『九州経済学会年報』第40集，2002年12月
- ・「利子生み資本と資本蓄積と物象化」『熊本学園大学経済論集』第9巻第3・4号，2003年3月
- ・「資本蓄積と信用制度あるいは金融システム」『経営と経済』第83巻第3号，2003年12月
- ・「拡大再生産表式での蓄積基金の形成と支出と信用制度の導入」『進化経済学論集』2004，2004年3月
- ・「物象化の進展と貨幣資本の運動」『経営と経済』第84巻第3号，2004年12月
- ・「物象化の進展と企業経営」『立命館経済学』第53巻第5号，2005年2月
- ・「二つの物象化とその連続化」『経営と経済』第85巻第1・2号，2005年9月
- ・「物象化の複合と株式会社」『経営と経済』第85巻第3・4号，2006年2月
- ・「物象化の競争と企業統治」『経営と経済』第86巻第3号，2006年12月
- ・「貨幣資本の運動と生産諸力および生産諸関係の物象化」『経営と経済』第87巻第3号，2007年12月
- ・「金融主導型蓄積体制と金融化」『経営と経済』第88巻第3号，2008年12月
- ・「物象化の浸透とその拡大の基礎 - 金融浸透型成長体制の理論化のために - 」『経営と経済』第88巻第4号，2009年3月
- ・「世界的金融恐慌と物象化の進展」『経営と経済』第89巻第4号，2010年3月

## その他

- ・「長崎県の産業構造と金融」『長崎県の産業と金融・財政』, 長崎大学商科短期大学部, 1986年3月
- ・「家事労働と男女平等」『経済法学を学ぶ』, 長崎大学商科短期大学部, 1990年3月
- ・「トロント市の『都市計画'91』について」『九州経済調査月報』1991年10月
- ・(書評)「高木彰著『現代経済学の基礎理論』(創風社, 1996年), 『立命館経済学』第46巻第3号, 1997年12月